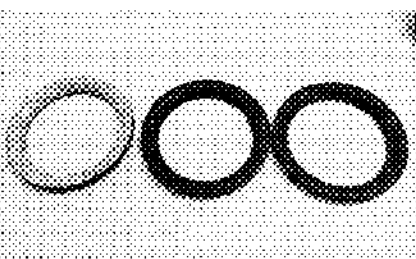


表面フッ素化 ゴム長寿命に

ラバーマテリアル

新技術で処理したゴム製品のサンプルと既存のゴム製品



先行して同技術を採用した。従来はPTFE材料を貼り付けたパッキンは、シリコンゴム製のシール用Uパッキンの表面を改質した。表面をコーティングしていた従来品では、摩擦抵抗が大きくコーティングが剥がれるなどの不良が一部発生していた状況を改善した。パンプ大手はゴム製パッキンに同技術を採用したい」と展望する。

竹延清次郎会長は「既存の摺動用ゴム製品の抵抗が大きく、使いづらい不満を解消する画期的な方法として提案

摺動性向上低コスト

ラバーマテリアル（大阪府八尾市、竹延清次社長）は、表面改質処理会社と協力し、ゴムの摺動性を高める技術を開発した。ゴムの表面10μm（マイクロは100万分の1）ほどをフッ素化し、摩擦抵抗を減らす。フッ素樹脂（PTFE）などを一体化したり、フッ素系やシリコン系の材料でコーティングしたりする方法に比べて低コストで、摺動部が剥げにくい。摩擦抵抗を未処理のゴムの10分の1程度に低減でき、長寿命になる表面改質加工法として提案する。